

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 1 月 25 日 (2007.1.25)

【公表番号】特表 2002-537405 (P2002-537405A)

【公表日】平成 14 年 11 月 5 日 (2002.11.5)

【出願番号】特願 2000-601118 (P2000-601118)

【国際特許分類】

A 0 1 N	59/08	(2006.01)
A 0 1 N	25/02	(2006.01)
A 0 1 N	25/12	(2006.01)
A 0 1 N	25/28	(2006.01)
A 0 1 N	59/00	(2006.01)
C 1 1 D	3/40	(2006.01)
C 1 1 D	3/48	(2006.01)
C 1 1 D	7/10	(2006.01)
C 1 1 D	7/12	(2006.01)
C 1 1 D	7/26	(2006.01)
C 1 1 D	7/54	(2006.01)
C 1 1 D	17/00	(2006.01)
C 1 1 D	17/06	(2006.01)

【F I】

A 0 1 N	59/08	A
A 0 1 N	25/02	
A 0 1 N	25/12	1 0 1
A 0 1 N	25/28	
A 0 1 N	59/00	D
C 1 1 D	3/40	
C 1 1 D	3/48	
C 1 1 D	7/10	
C 1 1 D	7/12	
C 1 1 D	7/26	
C 1 1 D	7/54	
C 1 1 D	17/00	
C 1 1 D	17/06	

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 22 日 (2006.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 塩素源および安定な染料源からなり、活性塩素を含む固体ユニットであり、その固体ユニットは：

(a) 染料あたり塩素の固体活性源約 10 ～ 約 200 質量部、および

(b) 染料源を含み、染料は約 200 μm の最小粒径を有する粒状染料からなり、固体ユニットは約 2 mm より大きい大部分の寸法および約 2 g より大きい質量からなり、固体ユニットは固体塩素源および染料の間の反応媒体として作用するのに十分な量の遊離水を実

質的に含まない。

【請求項 2】 染料は最小粒径約 $500\text{ }\mu\text{m}$ および 0.9 g/cm^3 より小さい密度を有する染料からなる請求項 1 記載の固体ユニット。

【請求項 3】 固体ユニットは径約 $4\sim 75\text{ mm}$ および厚さ約 $1\sim 25\text{ mm}$ を有する円筒形タブレットからなる請求項 1 記載の固体ユニット。

【請求項 4】 固体塩素源はアルカリ金属ジクロロイソシアヌレート・2水和物を含む請求項 1 記載の固体ユニット。

【請求項 5】 固体塩素源はカプセル化されたアルカリ金属ジクロロイソシアヌレート・2水和物を含む請求項 4 記載の固体ユニット。